組合だより

2022. 1. 13 発行　第 240 号

札幌鉄工関連協同組合
・TEL　661-2648
・FAX 665-1408
http//kanren.sakura.ne.jp/
E-mail : kanren00@poem.ocn.ne.jp

寅　新年交礼会を開催　寅

令和4年新年交礼会が、1月12日（水）午後6時より札幌ホテルヤマチにおいて開催されました。

今回は2年振りの開催となりましたが、新型コロナの再拡大が懸念される中、さらには前夜からの大雪による交通障害にも拘らず、40名を超える出席をいただきました。

会は、伝法谷理事の司会で進められ、今井理事長の挨拶のあと、ご来賓の北海道経済産業局地域経済部・佐藤部長、北海道経済部・田邊局長、札幌市経済観光局・高橋室長の3名からご挨拶をいただきました。

今井理事長からは、冒頭に様々な制約がある中、2年振りに開催できたことへの安堵と組合員並びに関係各位への感謝の言葉がありました。続けて昨年の東京オリパラでの金メダルラッシュや大谷選手の活躍を振り返り、今年な寅年なので変化の年になってほしい、特に新庄新監督の下、最後の札幌でのパレードを期待したいと締めました。

佐藤部長からは、北海道経済が依然厳しい中、コロナ禍からの脱却・成長に向けた中小企業等の事業再構築や人材の確保の支援など地域企業の生産性向上と競争力強化を目指す。また今後の課題となるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進やカーボンニュートラル、SDGs の実現に向け、地域の特色を生かした地域経済活性化に努めていきたいと述べられました。

田邊局長からは、昨年は感染症との闘いなど大きな制限があった中、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたほか、札幌で開催されたオリンピックのマラソン・競歩競技に先立ってアイヌ舞踊が世界に発信されるなど、本道が有する価値が国内外で大きな注目を集めた年となった。今年は、「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた支援をはじめ、行政サービスや遠隔医療・遠隔教育など地域の実情を踏まえたデジタル化の取組を加速させるなど社会変革の動きを的確に捉え、今後の成長につながる政策の種をまき、育て、本道が持続的に発展していけるよう取り組んでいきたいと述べられました。

髙橋室長からは、札幌市は今年、市制施行 100 年という節目を迎える。現在さまざまな課題を抱えている中でも、2030 年の冬季オリンピック・パラリンピック招致・開催に向けて、市民・企業・行政などオール札幌の力と思いを結集している。さらには将来を見据えたバリアフリーなど全ての人にやさしい共生社会を目指し、魅力と活力を創造し続ける持続可能なまちづくりを進め、素晴らしい札幌の街を次の世代に引き継いでまいりたいと述べられました。

その後、北海道中小企業団体中央会の柄目事務局長のご挨拶と乾杯で祝宴に入り、出席者間の名刺交換や和やかな交流・懇談が行われ、後半にはビンゴ大会で一気に盛り上り、最後は山本副理事長の一本締めにて午後8時に終焉しました。